

地域に愛されて、50周年！



青南だより

平成30年
修了おめでとう号
港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<心を込めたお別れ会>

普段から学年の枠を越えた交流をしてきている子どもたちは、互いに相手のことを思って、お別れ会を企画したり、プレゼントを作ったりしました。かえで組にお礼やお祝いの気持ちを込めて、年中からは手作りの鉛筆立て、年少からはペンダントを手渡しました。年長の修了記念品は、フェンスに設置した看板です。お互いにすてきな歌を披露し合った後は、縦割りグループで一緒に弁当を食べました。年中さんが育てて初料理のおいしい野菜スープ付きでみんな笑顔いっぱいでした。



かえで組さん、いろいろ教えてくれて、ありがとう

<憧れや思いやりの心が受け継がれる日々>

修了式は、みんなの一番すてきな姿を見てもらう式だから、どんな態度で臨んだらいいかは自分で考えるようにと、いろいろな場面・方法で伝えてきました。直前にはかなり練習しました。覚えることもたくさんですが、そこはさすがかえで組です。当日は本気を出して、自分自身に花マルを付けられるようにできるはずです。歌は本当に絶品です！セリフを忘れても、心で応援、目で応援、そして姿勢で応援することを誓いました。この園だよりを皆さんが読む頃には、きっと大きな拍手をもらって、充実感に満ちた子どもたちの姿があるはずです。



開園50周年記念製作 平成29年度かえで組作

<本当にお世話になりました>

式の練習には年中、年少児も参加し、かっこいいかえで組の姿を見ています。今年は年少児も式の後半は全部一緒に参加して送り出すことができます。かっこいいかえで組の姿は、4月からの新年長、新年中児にとってのモデルとなります。



当日、式に参加できない先生たちに練習を見てもらいました

今年度は、青南幼稚園の子どもたち、保護者の皆さんと濃いお付き合いができた充実した一年でした。ご支援いただいた地域や関係の皆様、そして保護者の皆様に、改めて深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

青南の 二十四節気

・・・青南は みんなの 心のふるさと・・・

都会でありながら、歴史と文化の香り高い南青山、青南幼稚園にはとても豊かな緑があります。青南はみんなの心のふるさとです。今年度、この街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「青南の二十四節気」をお届けしてきました。それは、身近な自然とのかかわりが、子どもたちの心を育てる情操教育にとって大事だと思うからです。

雪で折れてしまったかえでの枝は、手作りの人形と一緒に修了式の会場で子どもたちを見守っています。そのかえでは、ここ数日の暖かさから新芽がグングン芽吹き始めました。子どもたちがランドセルを背負って、幼稚園に来てくれる頃には、きっとかえでも桜も葉をを広げ、花を咲かせていることでしょう。そして、かえでの木はみんなのことをこれからもずっと見守り、応援し続けてくれることでしょう。かえで組さん、修了おめでとう！そして、ありがとう。立派な一年生になってね。



新芽が芽吹き始めたかえでの木



最後に読んでもらった絵本は「まどさんからの手紙 こどもたちへ」でした